

元氣でおぼろ

ハルバに声をかけられ目がさめ

甲といふことだ 昨日まで朝早く目がさめ

文章をかいていふ 膝にはその子にマを考

えこのいふ だのばあにびいすつにうけ

何んがにさうして それにフカにのり

しぬきん

かせをひいてたてあうう人のことか心配

これから独立したい人だ

人のこれからと言ふ時は エターライ

かうかやあいつ行く時

それは人金に何度も

かやあいつの言いついどをえかくすばうしい物

だから心配して

何ぞともなく おはよう と声かきこえ

くさうはいつだろ

秋は足がやれずか行く

すつたり各々たくとつてしまつた

昨日も今日も あつた布団にマいし終

天高戸轆太末廻は一級と各に述べ

と言つて

えきで各をむかえらひ

さむさなふつ けのその ととひあはてい

あ若いものろか昨のううに ありたえつて

来る

昔のとうろはけ 山さふくとはなるまふ

る

さいとえきは ぶけよう^りに

花も^りぶけよう^りと^り言あう

2020
10/23